

区分	必要単位	各科目に含めること が必要な事項及び教 育職員免許法施行規則に定める最低修得 単位		本学開設科目名	単位数	履修 年次	備考	説明	
教科及び 科目 に関する 科目	中34 (28) 高34 (24)	専門的 事項 に関する	漢文学 (1)	漢文学講読（文学）Ⅱ	2	1			
				漢文学講読（思想）Ⅰ	2	2			
				漢文学講読（思想）Ⅱ	2	2			
		書道（書写を中 心とする。） (1)	書写演習Ⅰ★	1	1	必修	中学免許のみ	高一免の 単位には ならない。	
			書写演習Ⅱ★	1	1	必修	中学免許のみ		
		各教科の指導法（情 報通信技術の活用を 含む。） 中8（8） 高6（4）		国語科教育法Ⅰ	2	2	必修		
				国語科教育法Ⅱ	2	2	必修		
				国語科教育法Ⅲ	2	3	必修		
				国語科教育法Ⅳ	2	3	中一種免必修		

必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

(注) 教科及び教科の指導法に関する科目必修単位 (免許法の最低修得単位数 中一免28単位、高一免24単位)

中一免の場合、必修科目を含み合計34単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

高一免の場合、必修科目を含み合計34単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。

『国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)] を満たすには、「国語学概論 I」と「国語学概論 II」両方の修得が必要。

『国文学 (国文学史を含む。)] を満たすには、「古典文学概論 I」又は「国文学概論 I (古典)」の修得、「近代文学概論 I」又は「国文学概論 II (近代)」の修得及び「国文学史 I (上中古)」、「国文学史 II (中近世)」、「国文学史 III (近代)」の6単位又は「古典文学史」、「近代文学史」の4単位の修得が必要。

『漢文学』を満たすには、「漢文学概論 I」と「漢文学概論 II」両方の修得が必要。

『書道 (書写を中心とする。)] を満たすには、「書写演習 I」と「書写演習 II」両方の修得が必要。

別表第5の2B 国文学科 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校・高等学校国語）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
教育の基礎的理解に関する科目	12 (10)	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2	必修	小中高共通開設
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	1	必修	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育関係法規	2	3 4	必修	小中高共通開設
			教育法規と行財政	2	2	学校教育学科用	小中高共通開設
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2	必修	小中高共通開設
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	2	必修	小中高共通開設
		・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（中等）	2	2	必修	副免での履修は3年次から
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 生徒指導、教育相談等に関する科目	中12 (10) 高10 (8)	・道徳の理論及び指導法	道徳の指導法（中等）	2	3	中一免許必修	副免での履修は4年次から
		・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(中等)	2	3	必修	副免での履修は4年次から
			・教育の方法及び技術	教育方法論（中等）	2	2	必修
		・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用	2	2	必修	小中高共通開設
		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論(中等)	2	2	必修	副免での履修は3年次から
			・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校相談心理学	2	3	必修
教育実践に関する科目	中5 (5) 高3 (3)	・教育実習	中等教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	5	3	中高一種免許	
			高校教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	3	4	高校免許のみ	
			小中教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	5	3	小中免許	小中共通開設
			中学教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	3	4	中一種免許	副免用
	2 (2)	・教職実践演習	教 職 実 践 演 習（教育フィールド研究Ⅳ・中等）	2	4	2単位必修	
			教職実践演習（学校教育研究・中等）	2	4		

必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

（注）「道徳の指導法（中等）」は、中学校の免許のみの開設であり、高一種免許の単位にはならない。

免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

別表第5の2C 国文学科 大学が独自に設定する科目（中学校・高等学校国語）（平成31年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
大学が独自に設定する科目	中1(4) 高4(4)	大学が独自に設定する科目	国語教育学概論Ⅰ	2	1 2	高一免許必修	国際教育学学科科目 国際教育学学科科目 国際教育学学科科目 国際教育学学科科目
			国語教育学概論Ⅱ	2	1 2	高一免許必修	
			国語教育史Ⅰ	2	3 4		
			国語教育史Ⅱ	2	3 4		
			国語教育学実践演習Ⅰ	2	3		
			国語教育学実践演習Ⅱ	2	3		
			日本文化講読	2	2 - 4		
			介護等体験実習	1	2	中一免許必修	
			教育フィールド研究Ⅲ	2	3		
			Introduction to IB Education	2	1		
			Approaches to teaching and learning	2	2		
			Reflection and Assessment	2	3		
			Integrated Learning & Teaching	2	1		
必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。							
※ 「介護等体験実習」、「教育フィールド研究Ⅲ」は高一種免許の単位にはならない。							

別表第6の2A 英文学科 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校・高等学校英語）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項及び教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位		本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明	
教科及び教科の指導法に関する科目	中28（28） 高28（24）	教科に関する専門的事項	英語学（1）	English Grammar I	2	1	必修	学校教育学科科目 中免のみ	
				English Phonetics I ★	2	1	必修		
				Introduction to English Linguistics I ★	2	2	必修		
				Introduction to English Linguistics II	2	2 3			
			英語文学（1）	Reading Literature in English I ★	2	1	必修		
			英語コミュニケーション（1）	Basic Reading & Writing I ★	2	1	2 単位必修		
				英語リーディング・ライティング★	2	2			
				Basic Reading & Writing II ★	2	1	必修		
				Advanced Reading & Writing I	2	2	必修		
				Listening & Speaking I ★	2	1	2 単位必修		
				英語リスニング・スピーキング★	2	2			
				Listening & Speaking II ★	2	1	必修		
		異文化理解（1）	Comparative Culture I ★	2	2	2 単位必修			
Intercultural Communication I ★	2		2						
異文化理解★	2		2						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） 中8（8） 高8（4）	TEFL（英語科教育法）Ⅰ	2	2	必修					
TEFL（英語科教育法）Ⅱ	2	2	必修						
TEFL（英語科教育法）Ⅲ	2	3	必修						
TEFL（英語科教育法）Ⅳ	2	3	必修						

必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

（注）教科及び教科の指導法に関する科目必修単位（免許法の最低修得単位数 中一免28単位、高一免24単位）

中一免の場合、必修科目を含み合計28単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

高一免の場合、必修科目を含み合計28単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。

『英語学』を満たすには、「English Phonetics I」、「Introduction to English Linguistics I」両方の修得が必要。

『英語コミュニケーション』を満たすには、「Basic Reading & Writing I」又は「英語リーディング・ライティング（学校教育学科のみ、中学免許のみ）」、「Basic Reading & Writing II」、「Listening & Speaking I」又は「英語リスニング・スピーキング（学校教育学科のみ、中学免許のみ）」及び「Listening & Speaking II」の修得が必要。

『異文化理解』を満たすには、「Comparative Culture I」、「Intercultural Communication I」、「異文化理解（国際教育学科のみ）」のいずれかの修得が必要。

別表第6の2B 英文学科 教育の基礎的理解に関する科目等（中学校・高等学校英語）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
教育の基礎的理解に関する科目	12 (10)	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	2	必修	小中高共通開設
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	2	1	必修	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育関係法規	2	3 4	必修	小中高共通開設
			教育法規と行財政	2	2	学校教育学科用	小中高共通開設
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	2	必修	小中高共通開設
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	2	必修	小中高共通開設
		・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（中等）	2	2	必修	副免での履修は3年次から
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	中12 (10) 高10 (8)	・道徳の理論及び指導法	道徳の指導法（中等）	2	3	中一免許必修	副免での履修は4年次から
		・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(中等)	2	3	必修	副免での履修は4年次から
				・教育の方法及び技術	教育方法論（中等）	2	2
		・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用	2	2	必修	小中高共通開設
		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論（中等）	2	2	必修	副免での履修は3年次から
				・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校相談心理学	2	3
教育実践に関する科目	中5 (5) 高3 (3)	・教育実習	中等教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	5	3	中高一種免許	
			高校教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	3	4	高校免許のみ	
			小中教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	5	3	小中免許	小中共通開設
			中学教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	3	4	中一種免許	副免用
	2 (2)	・教職実践演習	教職実践演習（教育フィールド研究Ⅳ・中等）	2	4	2単位必修	
			教職実践演習（学校教育研究・中等）	2	4		

必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

（注）「道徳の指導法（中等）」は、中学校の免許のみの開設であり、高一種免許の単位にはならない。

免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
大学が独自に設定する科目	中5(4) 高8(4)	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習	1	2	中一免許必修 中一免許選択4単位 高一免許選択8単位	国際教育学科科目 国際教育学科科目 国際教育学科科目 国際教育学科科目
			Introduction to SLA and ELT I	2	1		
			Introduction to SLA and ELT II	2	1		
			TEFL in Practice I	2	3		
			TEFL in Practice II	2	3		
			Introduction to IB Education	2	1		
			Approaches to Teaching and Learning	2	2		
			Reflection and Assessment	2	3		
			Integrated Learning & Teaching	2	1		
			Issues in TESOL I	2	2 3		
			Issues in TESOL II	2	2 3		
			World Englishes I	2	2 3		
			教育フィールド研究Ⅲ	2	3		

必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。
 ※ 「介護等体験実習」、「教育フィールド研究Ⅲ」は高一種免許の単位にはならない。

別表第9の1 学校教育学科 教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）（令和4年度以降入学生用）

区分	卒業必要単位	各科目に含めることが必要事項及び教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位		本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
教科及び教科の指導法に関する科目	35 (30)	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	日本語・日本文学概論（書写を含む）	2	2		4単位必修
			社会	社会概論	2	2		
			算数	算数概論	2	1 2	必修	
			理科	理科概論	2	3 4		
				理科実験・観察	2	1	必修	
			生活	生活概論	2	2		
			家庭	家政学概論	2	2		
			音楽	音楽実技演習（ソルフェージュ）	1	1	必修	
				音楽実技演習（器楽）	2	1	必修	
			図画工作	図画工作実技演習（平面）	1	1 2	必修	
				図画工作実技演習（立体）	1	1 2	必修	
			体育	体育実技演習	2	3	必修	
			外国語	外国語概論	2	2	必修	
		各教科の指導法（情報の活用を含む。）	国語（書写を含む。） （1）	国語科指導法（書写を含む）	2	2	必修	
			社会 （1）	社会科指導法	2	2	必修	
			算数 （1）	算数科指導法	2	2	必修	
			理科 （1）	理科指導法	1	2	必修	
			生活 （1）	生活科指導法	1	2	必修	
			家庭 （1）	家庭科指導法	2	2	必修	
			音楽 （1）	音楽科指導法	2	2	必修	
			図画工作 （1）	図画工作科指導法	2	2	必修	
			体育 （1）	体育科指導法	2	2	必修	
			外国語 （1）	外国語科指導法	2	2	必修	
			卒業必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。 (注) 卒業必要単位数の合計は35単位である。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。					

別表第9の2 学校教育学科 教育の基礎的理解に関する科目等 (小学校) (令和4年度以降入学生用)

区分	卒業必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
教育の基礎的理解に関する科目	12 (10)	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	1	必修	小中高共通開設
		・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職概論	2	1	必修	
		・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育関係法規	2	3	教育実践学系以外必修	小中高共通開設
			教育法規と行財政	2	2	教育実践学系必修	小中高共通開設
		・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	1	必修	小中高共通開設
		・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	1	必修	小中高共通開設
		・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論（小中）	2	2	教育実践学系以外必修	副免での履修は3年次から
教育課程とカリキュラム開発	2		2	教育実践学系必修			
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	12 (10)	・道徳の理論及び指導法	道徳の指導法（小中）	2	3	必修	副免での履修は4年次から
		・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法（小中）	2	3	必修	副免での履修は4年次から
			・教育の方法及び技術	教育方法論（小中）	2	2	教育実践学系以外必修
		教授学概論		2	2	教育実践学系必修	
		・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育におけるICT活用	2	2	必修	小中高共通開設
		・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒・進路指導論（小中）	2	2	必修	副免での履修は3年次から
			・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	学校相談心理学	2	3	必修
科目 教育実践に関する	5 (5)	・教育実習	小中教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	5	3	必修	小中共通開設
			初等教育実習（事前・事後指導1単位を含む）	3	4	（副免用）	
	2 (2)	・教職実践演習	教職実践演習（教育フィールド研究Ⅳ・小中）	2	4	2単位必修	
			教職実践演習（学校教育研究・小中）	2	4		
卒業必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。 （注）卒業必要単位数の合計は31単位である。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。							

区分	卒業必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
大学が独自に設定する科目	4 (2)	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習	1	2	必修	国際教育学科科目
			教育フィールド研究Ⅰ	1	1	必修	
			教育フィールド研究Ⅱ	1	2		
			教育フィールド研究Ⅲ	2	3	必修	
			Introduction to IB Education	2	1		
			Approaches to teaching and learning	2	2		
			Reflection and Assessment	2	3		
			Integrated Learning & Teaching	2	1		
卒業必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。 (注) 卒業必要単位数の合計は4単位である。							

(注) 卒業必要単位数の合計は4単位である。

別表第9の6A 学校教育学科 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校数学）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めること が可能な事項及び教 育職員免許法施行規 則に定める最低修得 単位		本学開設科目名	単位数	履修 年次	備考	説明	
教科及び教科の指導法に関する科目	中36 (28)	教科に関する専門的事項	代数学 (1)	線型代数学	2	2	必修 必修		
				代数学基礎 ★	2	1			
				代数学	2	2			
				代数学特論Ⅰ	2	3			
				代数学特論Ⅱ	2	3			
				専門演習Ⅰ（代数学）	2	3			
				専門演習Ⅱ（代数学）	2	3			
				専門演習Ⅲ（代数学）	2	4			
			幾何学 (1)	幾何学基礎 ★	2	1	必修	14単位 選択必修	
				幾何学	2	2			
				幾何学特論Ⅰ	2	3			
				幾何学特論Ⅱ	2	3			
				専門演習Ⅰ（幾何学）	2	3			
				専門演習Ⅱ（幾何学）	2	3			
				専門演習Ⅲ（幾何学）	2	4			
			解析学 (1)	微分積分学	2	2	必修 必修		
				解析学基礎 ★	2	1			
				解析学	2	2			
				解析学特論Ⅰ	2	3			
				解析学特論Ⅱ	2	3			
			「確率論、統計学」 (1)	確率統計基礎 ★	2	1	必修		
				統計学	2	2			
				統計学特論Ⅰ	2	3			
				統計学特論Ⅱ	2	3			
				情報リテラシーⅡ（統計）	2	1			共通専門科目
			コンピュータ (1)	コンピュータ基礎 ★	2	1	必修		
				情報フルエンシーⅠ （データベース）	2	1			共通専門科目
				情報フルエンシーⅡ （プログラミング基礎）	2	1			共通専門科目
			各教科の指導法（情 報通信技術の活用を 含む。） 中8（8）	数学科教育法Ⅰ	2	2	必修		
				数学科教育法Ⅱ	2	2	必修		
				数学科教育法Ⅲ	2	3	必修		
				数学科教育法Ⅳ	2	3	必修		

必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

（注） 中一免数学の場合、必修科目を含み合計36単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。

別表第9の6B 学校教育学科 教科及び教科の指導法に関する科目（中学校理科）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項及び教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位		本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明	
教科及び教科の指導法に関する科目	中36（28）	教科に関する専門的事項	物理学（1）	基礎物理学 ★	2	1 2	必修		
				物理学Ⅰ	2	2 - 4			
				物理学Ⅱ	2	2 - 4			
				専門演習Ⅰ（物理学）	2	3			
				専門演習Ⅱ（物理学）	2	3			
			物理学実験（コンピュータ活用を含む。）（1）	物理基礎実験 ★	1	2	必修		
				物理学実験Ⅰ	1	3 4			
				物理学実験Ⅱ	1	3 4			
				理科野外実習Ⅰ（天体現象観察と宇宙論セミナー）	1	1 - 4			
			化学（1）	基礎化学 ★	2	1 2	必修	16単位 選択必修	
				化学Ⅰ	2	2 - 4			
				化学Ⅱ	2	2 - 4			
				専門演習Ⅰ（化学）	2	3			
				専門演習Ⅱ（化学）	2	3			
			化学実験（コンピュータ活用を含む。）（1）	化学基礎実験 ★	1	2	必修		
				化学実験Ⅰ	1	3 4			
				化学実験Ⅱ	1	3 4			
				理科野外実習Ⅱ（富士山・都留の大気と水の化学）	1	1 - 4			
			生物学（1）	基礎生物学 ★	2	1 2	必修		
				生物学Ⅰ	2	2 - 4			
				生物学Ⅱ	2	2 - 4			
				専門演習Ⅰ（生物学）	2	3			
				専門演習Ⅱ（生物学）	2	3			
			生物学実験（コンピュータ活用を含む。）（1）	生物基礎実験 ★	1	2	必修		
				生物学実験Ⅰ	1	3 4			
				生物学実験Ⅱ	1	3 4			
				理科野外実習Ⅲ（富士山周辺の動物と植物）	1	1 - 4			
			地学（1）	基礎地学 ★	2	1 2	必修		
地学Ⅰ	2	2 - 4							
地学Ⅱ	2	2 - 4							
専門演習Ⅰ（地学）	2	3							
専門演習Ⅱ（地学）	2	3							
地学実験（コンピュータ活用を含む。）（1）	地学基礎実験 ★	1	2	必修					
	地学実験Ⅰ	1	3 4						
	地学実験Ⅱ	1	3 4						
	理科野外実習Ⅳ（火山としての富士山）	1	1 - 4						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） 中8（8）	理科教育法Ⅰ	2	2	必修					
	理科教育法Ⅱ	2	2	必修					
	理科教育法Ⅲ	2	3	必修					
	理科教育法Ⅳ	2	3	必修					
必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。									
(注) 中一免理科の場合、必修科目を含み合計36単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。									
★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。									

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明
大学が独自に設定する科目	1 (4)	大学が独自に設定する科目	介護等体験実習	1	2	必修	
			教育フィールド研究Ⅲ	2	3		
			Introduction to IB Education	2	1		
			Approaches to teaching and learning	2	2		
			Reflection and Assessment	2	3		
			Integrated Learning & Teaching	2	1		
			必要単位欄に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。				

別表第10の2B 地域社会学科 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校地理歴史）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項及び教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位		本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明	
教科及び教科の指導法に関する科目	高40（24）	教科に関する専門的事項	日本史（1）	日本史学 ★	2	1 2	必修	必修科目を除き22単位選択必修	
				日本社会史	2	2 3			
				地域史Ⅰ	2	2 3			
				地域史Ⅱ	2	2 3			
				考古学Ⅰ	2	3 4			
				考古学Ⅱ	2	3 4			
				民俗学	2	2 3			
			外国史（1）	西洋史学 ★	2	2 3	必修		
				東洋史学 ★	2	2 3	必修		
				オリエント史	2	1	国際同時開講		
				東西文化交流史	2	1	国際同時開講		
			人文地理学・自然地理学（1）	人文地理学 ★	2	2 3	必修		
				自然地理学 ★	2	2 3	必修		
環境保全と自然再生	2	2 3							
都市環境設計論Ⅰ	2	2 3							
都市環境設計論Ⅱ	2	2 3							
地域経済論Ⅰ	2	2 3							
地域経済論Ⅱ	2	2 3							
農山村と農林業再生Ⅰ	2	2 3							
農山村と農林業再生Ⅱ	2	2 3							
地誌（1）	日本地誌 ★	2	2 3	必修					
	世界地誌 ★	2	2 3	必修					
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） 高4（4）	地理歴史科教育法Ⅰ	2	3	必修					
	地理歴史科教育法Ⅱ	2	3	必修					

必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

(注) 教科及び教科の指導法に関する科目必修単位（免許法の最低修得単位数 高一免24単位）

高一免の場合、必修科目を含み合計40単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。

高校地理歴史

『外国史』を満たすには、「西洋史学」、「東洋史学」両方の修得が必要。

『人文地理学・自然地理学』を満たすには、「人文地理学」、「自然地理学」両方の修得が必要。

『地誌』を満たすには、「日本地誌」、「世界地誌」両方の修得が必要。

別表第10の2C 地域社会学科 教科及び教科の指導法に関する科目（高等学校公民）（令和4年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含めることが必要な事項及び教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位	本学開設科目名	単位数	履修年次	備考	説明		
教科及び教科の指導法に関する科目	高40（24）	教科に関する専門的事項	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 （1）	法律学 ★	2	1 2	必修 必修 国際同時開講	必修科目を除き 24単位選択必修	
			政治学 ★	2	1 2				
			国際政治学Ⅰ	2	2 3				
			行政学Ⅰ	2	2 3				
			自治体経営論Ⅰ	2	2 3				
			公共政策論Ⅰ	2	2 3				
			憲法Ⅰ	2	2				
			環境法Ⅰ	2	2 3				
			環境法Ⅱ	2	2 3				
			法と社会	2	1				
			国際法	2	2 3				
			「社会学、経済学（国際経済を含む。）」 （1）	社会学 ★	2	1 2	必修 必修		
			経済学 ★	2	1 2				
			国際経済論Ⅰ	2	2 3				
			国際経済論Ⅱ	2	2 3				
			企業経営論Ⅰ	2	2 3				
			企業経営論Ⅱ	2	2 3				
			環境社会学Ⅰ	2	2 3				
			環境社会学Ⅱ	2	2 3				
			地域社会論Ⅰ	2	2 3				
			地域社会論Ⅱ	2	2 3				
			生涯学習論Ⅰ	2	2 3				
			「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 （1）	哲学 ★	2	1 2	必修 必修		
			倫理学 ★	2	1 2				
			現代哲学思想	2	2 3				
			応用倫理学	2	2 3				
			市民社会論	2	2 3				
			各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） 高4（4）	公民科教育法Ⅰ	2	3	必修		
				公民科教育法Ⅱ	2	3	必修		

必要単位欄及び「各教科の指導法」に記載された括弧書きの数字は、教育職員免許法施行規則に定める最低修得単位数である。

（注）教科及び教科の指導法に関する科目必修単位（免許法の最低修得単位数 高一免24単位）

高一免の場合、必修科目を含み合計40単位以上修得する。なお、免許法施行規則に定められた最低修得単位数を超過した単位は、「大学が独自に設定する科目」の単位へ算定する。

★は免許法施行規則に定める科目のうち、各分野で一般的包括的な内容を含む科目。

高校公民

『「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」』は、「法律学」又は「政治学」どちらか1科目の修得で満たす。

『「社会学、経済学（国際経済を含む。）」』は、「社会学」又は「経済学」どちらか1科目の修得で満たす。

「哲学、倫理学、宗教学、心理学」を満たすには、「哲学」又は「倫理学」どちらか1科目の修得で満たす。

別表第10の4 地域社会学科 大学が独自に設定する科目（中学校社会、高等学校地理歴史／公民）（平成31年度以降入学生用）

区分	必要単位	各科目に含める ことが必要な事 項	本学開設科目名	単位数	履修 年次	備考	説明
大学が独自に 設定する科目	1 (4)	大学が独自に設 定する科目	介護等体験実習	1	2	中一免許必修	国際教育学科科目 国際教育学科科目 国際教育学科科目 国際教育学科科目 国際教育学科科目
			教育フィールド研究Ⅲ	2	3		
			Introduction to IB Education	2	1		
			Approaches to teaching and learning	2	2		
			Reflection and Assessment	2	3		
			Integrated Learning & Teaching	2	1		
※ 「介護等体験実習」、「教育フィールド研究Ⅲ」は高一種免許の単位にはならない。							

別表第16 （平成31年度以降入学生用）

学部	学科	免許状の種類（免許教科）
文学部	国文学科	中学校教諭一種免許状（国語）
		高等学校教諭一種免許状（国語）
	英文学科	中学校教諭一種免許状（英語）
		高等学校教諭一種免許状（英語）
教養学部	学校教育学科	小学校教諭一種免許状
		特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
		中学校教諭一種免許状（数学）
		中学校教諭一種免許状（理科）
	地域社会学科	中学校教諭一種免許状（社会）
		高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
		高等学校教諭一種免許状（公民）